

住友理工の橋梁用免震ゴム支承が東海環状自動車道に採用

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、当社の橋梁用免震ゴム支承が、国土交通省中部地方整備局、中日本高速道路株式会社が管轄する東海環状自動車道（西回り：岐阜県 山県 IC～大野神戸 IC、三重県 北勢 IC～大安 IC）に採用されたことをお知らせいたします。



建設中の東海環状自動車道



橋梁用免震ゴム支承

橋梁用免震ゴム支承は、高速道路や橋などの橋梁の支点部に設置され、地震時の慣性力を分散、減衰させ、橋梁の耐震性能向上に寄与します。これまでに、新名神高速道路安楽川橋 他1橋（三重県亀山市）や新東名高速道路ぐみ沢上高架橋（PC 上部工：静岡県御殿場市）など、国内外、多くの橋梁に設置されています。

当社はコアコンピタンスである高分子材料技術と総合評価技術をもとに、自動車分野で培った技術を地震対策へ応用し、2000年に橋梁用免震ゴム支承事業へ本格参入しました。東海環状自動車道では、建設当初より納入を開始し、その後も継続的な技術開発に取り組み、2026年度の全線開通に向けて、納入を進めています。

東海環状自動車道は愛知県豊田市から岐阜県を經由し、三重県四日市市に至る環状線の自動車専用道路です。全長距離は約 153km で、2023 年 8 月現在、約 110km が開通しています。東海環状自動車道の全線開通により、沿線都市間の移動時間が大幅に短縮され、物流の効率化や、都市間連携の強化などが期待されます。

現在、国土交通省は道路建設に関し、高規格道路のミッシングリンク解消、4車線化、道路施設の老朽化対策を重点実施項目として挙げています。これは 2011 年に発生した東日本大震災を受け、2013 年に施行された国土強靱化基本法に基づき、大規模な災害からの被害最小化に向けた重点施策を盛り込んだ計画です。

当社グループは、経営 Vision「2029 年 住友理工グループ Vision」にて、2029 年のありたい姿を「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」と設定しました。今後も、当社グループは安全・快適の提供拡大に向けた技術の進化・融合を推進し、社会課題解決に貢献してまいります。

<製品に関するお問い合わせ>

販売に関するお問い合わせ先

住理工商事株式会社

(〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目 17 番 13 号いちご丸の内ビル 6 階)

052-951-5895

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・GW・夏期休暇・年末年始を除く）

Email：industry_inquiry@jp.sumitomoriko.com

技術・品質に関するお問い合わせ先

住友理工株式会社 化工品事業部

(〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目 1 番地)

0568-77-1318

受付時間：9:00～17:00（土・日・GW・夏期休暇・年末年始を除く）

Email：industry_inquiry@jp.sumitomoriko.com

以上

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>